

ごあいさつ ～ 引き続き、いま、できることを大切に ～

「福島県立須賀川支援学校」ホームページをご覧くださいありがとうございます。

本校は、須賀川市の中心部に位置する芦田塚（あしだつか）に、昭和48年、県内初の病弱教育を主とする県立特別支援学校として開校（独立行政法人国立病院機構福島病院隣接）し、小学部、中学部、高等部（昭和57年開設）の3学部を設置、また分校として、医大校（福島市：昭和62年開校）並びに郡山校（郡山市：昭和53年開校）を設置しております。

本校は、昨年3月16日に発生した地震により、校舎の大半を被災し、現在、高等部全教室を、学校に隣接する福島病院の看護学校跡地へ移転し、小・中学部は、校舎で唯一被害を免れた教室等に移動し学んでいます。移転後、1年経ちますが、これまで保護者の皆様や福島病院の皆様など、多くの方のご理解とご協力をいただき、何とかここまで進めてくることができました。離れた校舎で児童生徒や教員が孤立することなく、物と物、人と人をいかにつなぐか、本校にとって最大のテーマとなっています。

行事1つ進めるにしても、先生方は工夫に工夫を重ね、子どもたちも「いま、できることは何か」について一緒に考えてくれています。これまで誰も経験したことのない課題の連続ですが、分散しながらも、学校全体の所属感や一体感を得ることの大切さや子どもたちを主とする合理的な行事運営など、あらためて気づかされることもあり、これらの取組みが今の本校らしさであり、本校ならではの特色と言えるのかもしれない。

現在、本校舎は、復旧に向けた準備が急ピッチで進められていますが、もう暫くはこのような状況が続くことになりそうです。復旧作業等により、今後さらに環境の変化に対応した行動が必要となり、昨年度以上に課題の多い年となりそうですが、継続する感染症対策を含め、すべての子どもたちが安全に、安心して教育活動を展開し、充実した毎日を過ごすことができるよう、引き続き、いま、できることを大切にしながら、保護者の皆様や地域の方々のご理解・ご協力のもと、教職員・児童生徒、一丸となって進めて参りたいと思いますので、今年度もどうぞよろしくお願い致します。

環境の変化に負けない、明るく、強く、元気な、病弱教育の実践について、ホームページで紹介して参りますので、今後とも一層のご支援とご協力をお願い申し上げます。



令和5年4月
校長 佐藤 清悦